



益城町復興大使

益城町復興大使が決定

3月30日、町役場の応接室に、ひときわ目を引く4人の男女が集まりました。今年度より始まった「益城町復興大使」制度の第一期となるメンバー(下記)です。

益城町復興大使は、平成28年10月から開催されている「益城町未来トーク」で出た意見を元に若者たちが草案を作成。その提出を受けて、町が設立しました。

復興大使の主な任務は、「熊本地震の風化防止」と、「町のイメージアップ」です。震災から一年が経ち、関東や関西などの中央のメディアの報道は少なくなり、人々の脳裏からは、熊本地震の記憶が薄れかけてきています。任命式

で西村町長は、「震災は全国どこでも起こりうるものであり、今後の復興プロセスを、教訓として全国に発信すべきと考えます。また、復興を遂げていく姿を発信することは、今までご支援いただいた皆さまへの恩返しになるのでは」と述べました。

任命式を終え、4人はそれぞれのフィールドと経験を生かし、一緒になって復興を盛り上げていきたいと意気込みを語りました。今回はあいにく出席ができませんでしたが、プロゴルファーの永野竜太郎^{ながのりゅうたろう}さんも復興大使に任命されることが内定しており、さまざまなフィールドでの町のPRが期待されます。



いまよし
今吉めぐみ
(舞台女優)

町出身の舞台女優。解散したアイドルグループSDN48のメンバー。東京を拠点に舞台・ミュージカルで活躍中。



さんゆうていこうきち
三遊亭好吉
(落語家)

町出身の落語家。円楽一門会に所属し、三遊亭好楽の四番弟子。2012年には二つ目に昇進。笑点などにも出演。



まー
maa(sho_maa)
(デジタルアート作家)

町出身の男女二人組から成るデジタルアート作家。九州各地の名所を背景にしたデジタルアート作品を手掛ける。



たかさきひろし
高崎裕士
(津軽三味線奏者)

幼少のころから津軽三味線に親しみ、12歳で初舞台を踏む。作曲にも携わり、さまざまなテレビのBGMに起用されている。

